学校番号	216

H31 年度　公民科

教科	公民科	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「最新政治・経済」　（実教出版）						
副教材等	無　し						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自分にかかわる身の回りのことだけでなく、広く世の中の出来事に目を向ける。
・そのため常に新聞やテレビ、ウェブなどからの時事的なニュースに関心を持つ。
・世の中のさまざまな事象の背後にあり、それらを生み出している構造を掴もうとする態度を持つ。

2　学習の到達目標

・広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深化させる。
・科学的な観点から、現代社会を動かす経済の基本的なしくみを理解させる。
・現代の政治、経済、国際関係に関する興味・関心を引き出し、その客観的な理解をはかる。
・現代の政治・経済における諸課題についての多様な見方・考え方を学び、その解決に向けて主体的に考える態度を養わせる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄に対する興味・関心を高め、意識的に課題を追及するとともに、平和で民主的なより良い社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につける。	現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見出し、社会的事象の本質について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の政治、経済、国際関係に関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート ディベート	定期考査 ワークシート	定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1学期	現代の政治	**[第一章]** **現代国家と民主政治**					a:民主主義の歴史や基本原理に興味を持つ。平和主義と日本の課題にも関心を示す。 b:旧憲法と新憲法を比較し、憲法の必要性を考察する。 c: メディアや教科書から、日本政治の現状や動向を知ることが出来る。 d:日本国憲法の成立過程と人権保障に関する規定を理解している。また、国会・内閣・裁判所・地方自治のしくみと相互の関係を理解している。	定期考査 ワークシート
		①民主政治の成立	○			○		
		②民主政治の基本原理			○	○		
		③民主政治のしくみと課題	○	○				
		④世界の主な政治制度		○		○		
		[第二章] **日本国憲法と基本的人権**						
		①日本国憲法の成立	○			○		
		②日本国憲法の基本原理			○	○		
		③④自由に生きる権利	○		○	○		
		⑤平等に生きる権利	○		○	○		
		⑥社会権と参政権	○		○	○		
		⑦新しい人権		○	○			
		⑧人権の広がりと公共の福祉		○	○			
		[第三章] **日本の政治制度と政治参加**						
		①政治機構と国会	○			○		
		②内閣と行政権の拡大		○	○	○		
		③公正な裁判の保障	○		○	○		
		④地方自治と住民福祉	○		○			
		⑤政党政治			○	○		
		⑥選挙制度	○	○		○		
		⑦世論と政治参加	○	○				
		[第四章] **現代の国際政治**					a:現在の国際政治制度が成立した歴史と、現行のシステムに興味と関心を持つ。 b:国際法や国際連合の必要性と課題を考察し、表現することが出来る。 c:メディアや教科書から、国際社会の動向を知ることが出来る。 d:国際社会の歴史と現状を知り、その中における日本の立ち位置や役割を理解している。	定期考査 ワークシート ディベート
		①国際社会と国際法	○			○		
		②国際社会の変化	○	○	○			
		③国際連合と国際協力			○	○		
		④第二次世界大戦後の国際政治	○			○		
		⑤冷戦終結後の国際政治		○		○		
		⑥軍拡競争から軍縮へ		○	○			
		[第五章] **日本の平和主義と国際平和**						
		①平和主義と自衛隊		○		○		
		②日米安全保障体制の変化	○		○	○		
		③２１世紀の平和主義	○			○		
		④日本の外交と国際社会での役割	○	○	○			

2学期	現代の経済	**[第一章]** **現代の経済社会**					a:経済の本質や資本主義経済の歴史について関心がある。 b:家計・企業・政府間の経済循環を現実の経済活動と対応させながら考察している。また、適切な価格設定や資源配分といった市場経済の特性の理解とともに、その限界にも考察を加えている。 c:戦後日本経済史に関する資料を幅広く収集している。 d:自由貿易と保護貿易、国際収支や為替レートの仕組みを理解し、経済のグローバル化の動きを考察している。	定期考査 ワークシート
		①経済社会の変容	○		○			
		②経済主体と市場の働き			○	○		
		③企業の役割	○	○				
		④国民所得		○		○		
		⑤経済成長と国民の福祉	○		○	○		
		⑥金融の役割		○		○		
		⑦日本銀行の役割	○			○		
		⑧財政の役割と租税			○	○		
		⑨日本の財政の課題	○	○				
		[第二章] **現代の日本経済と福祉の向上**						
		①戦後復興から高度経済成長へ	○		○	○		
		②安定成長からバブル経済へ			○	○		
		③日本経済の課題	○	○				
		④中小企業と農業	○		○	○		
		⑤消費者問題			○	○		
		⑥公害防止と環境保全	○	○	○			
		⑦労働問題と労働者の権利	○			○		
		⑧こんにちの労働問題	○	○	○			
		⑨社会保障の役割			○	○		
		[第三章] **現代の国際経済**						
		①貿易と国際収支			○	○		
		②外国為替市場のしくみ	○		○	○		
		③第二次世界大戦後の国際経済	○		○	○		
		④⑤国際経済の動向	○	○	○			
		⑥発展途上国の諸問題	○	○	○			
		⑦経済協力と日本の役割	○	○		○		
3学期	現代社会の諸課題	**・現代日本の諸課題**					a:国内外の諸課題に関心を持っている。 b:これまでに習ってきた様々な知識と経験に基づいた、合理的で理論的な判断を下し、それを集団の中で主張できる。 c:教科書や過去の授業、ネット上などから情報を収集して、選択・分析することが出来る。 d:上記のことをできる知識を身につけている。	定期考査 レポート ディベート
		③農業と食料問題	○	○		○		
		④雇用と労働をめぐる問題	○		○	○		
		⑤少子高齢社会と社会保障	○	○	○	○		
		・国際社会の諸課題						
		⑦地球環境と資源・エネルギー問題	○	○	○	○		
		⑧人種・民族問題	○		○	○		
		⑩国際社会における日本の立場と役割	○	○	○			

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価するが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について〇を付けている。

・これは年度当初の計画であり、状況に応じて、柔軟に変更する。